阪神淡路大震災の経験をもとにした災害時救急医療の兵庫県における取組み

兵庫県災害医療センター
センター長　小澤修一

## 阪神淡路大震災から得た教訓（災害時救急医療）

1. コマンド、コントロール（指揮、統制）
   バックアップ機能が不十分.
2. コミュニケーション（連絡）
   混乱し，適切な医療配分がなされなかった。
3. トランスポーテーション（搬送）
   渋滞で不十分，ヘリコプターの利用が少なかった。

## 兵庫県災害救急医療システム

- 1. コミュニケーション（連絡）
  広域災害救急医療情報ネットワーク
- 2. コマンド、コントロール（指揮，統制）
  災害拠点病院　.　災害医療コーディネーター
- 3. 連絡. 指揮，統制. 研修、訓練
  兵庫県災害医療センター

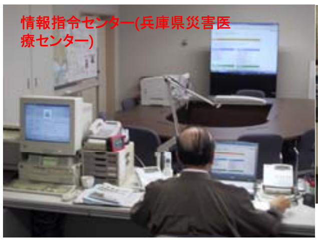
## 兵庫県広域災害救急医療情報システム

1　平常時モード
- 救急医療情報のやりとり

2　広域災害モード（大災害時）
震災経験後追加
- 要請情報（患者転送、救護班派遣の要請）
- 支援情報（患者受入れ、救護班派遣）

3　緊急搬送要請モード（大事故時）
2003年4月に追加
- 集団災害発生時に、消防本部が圏域内医療機関に発動。
  発動時にアラート鳴る！

## 広域災害救急医療情報システム（E-MIS）




救急病院は一日2回空きベットと提供できる診療科目等を入力する。
災害時には警報が鳴り、必要な情報を入力する。

ラップトップコンピューターの配備
救急病院（264），消防本部（30）中核保健所），（10）等

| 情報訓練、発動 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 災害モード訓練 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 災害発動 | 1<br>中越地震 | | 1<br>能登半島地震 | 1<br>中越沖地震 | 1<br>岩手宮城内陸地震 |
| 緊急搬送要請モード訓練 | 4 | 5 | 10 | 14 | 10 |
| 緊急搬送要請発動 | 4<br>多重交通事故（神戸1、淡路１）<br>加古川市異臭<br>台風23号（但馬洪水災害） | 4<br>JR福知山線事故、<br>神戸電鉄脱線事故、<br>中国道交通事故、<br>多重交通事故（山陽道） | 4<br>JR三宮異臭<br>多重交通事故（阪神高速）<br>病院火災<br>宝塚カラオケボックス建物火災 | 8<br>多重交通事故−３<br>労災事故−2<br>明石海峡海難事故<br>須磨建物火災<br>中央区ホテル食中毒 | 5<br>多重交通事故−4（神戸2、但馬２）<br>食中毒疑い |

兵庫県内災害拠点病院15
兵庫県災害医療センター
（基幹災害医療センター）
2003年8月開設
災害時に指導的な役割を果たす
多数傷病者の受け入れ
傷病者遠隔搬送の拠点
救護班の派遣
医薬品の備蓄.
医療従事者に対する訓練
兵庫県
Hyogo
京都
兵庫
大阪
(災害拠点病院)

兵庫県災害医療センター
(HEMC)
-- 基幹災害医療センター--
ドクターカーを日常的に運用
災害時には救護班の派遣に用いる
研修室
災害時には病室として使用
30床を100床にまで増床
地階
（免震装置）
耐震構造
受水槽
自家発電装置

災害派遣海外（JICA緊急援助隊の一員またはNPO法人HuMAと共同で）
イランバム地震,
2003-4
スマトラ沖津波,スリランカ、
スマトラ
2004-5
ジョクジャカルタ地震
インドネシア
2006、5月
鵜飼顧問が緊急援助隊副団長
として派遣
HuMA と災害医療センターと共
同で派遣
インドネシア、オランダの医
療チームと一緒に手術

四川大地震　2008.5.20-6.2

台風23号による但馬地域洪水災害(2004.10.20-26)
10災害拠点病院が救護班を派遣

JR福知山線事故報道当日夕刊一面
2005.4．25
ＪＲ脱線 37人死亡
マンション激突
救出難航
220人以上負傷
尼崎・福知山線
直前 伊丹駅オーバーラン

## JR 福知山線脱線事故

（2005年4月25日）

死者： 107

負傷者： 555

**兵庫県災害医療センターが果たした役割**

**ドクターカーによる最先着救護チーム**
**トリアージ、応急処置、現地医療対策本部**
**情報指令センターとして大阪の**
**災害拠点病院に収容依頼**
**ヘリコプターで第二陣派遣.**
**重傷者4名ヘリで収容**
**第3陣を派遣し、がれきの下の医療を行う**
**のちに現場医療対応についての検証で**
**主要な役割を果たす**

## 中越沖地震（2007. 7. 16-18）

兵庫県災害医療センター
災害医療対策本部（情報指令センター内）

刈羽郡総合病院
災害医療対策本部（全国DMATチームが参集）

## まとめ

1. 広域災害医療情報システム（e-mis）が更新された。

2. 災害拠点病院が15病院指定され. 兵庫県災害医療センター（神戸赤十字病院）が基幹災害医療センターに指定された.

3. 阪神淡路大震災の教訓がJR福知山線事故の現場対応に活かされた。